

多様な学生確保に向けての社会との情報共有について



問題と現状

▶ 社会構造

工業化社会



情報化社会 グローバル化 少子化

* 消費者心理

「無いから欲しい」 (不足解消型)



「今あるものを失いたくない」 (不安解消型)

▶ 限られたパイをどう獲得するのか?

実際の効果は?

● 横並びの手法

➡結局は偏差値重視

- ⇒ 効果が見えにくい
- **▶** PDCAができない

⇒情報の氾濫

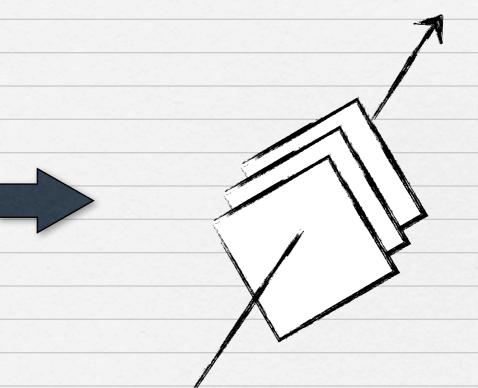
▶ 比較しづらい

多面的な視点から大学をアピールするシステム

A大学 B大学

C大学

D大学 E大学



期待される効果

- 受験生 多面的な選択肢
- 在学生 ライフプラン提示
- * 家族 見える化で安心
- 高校 進路指導を的確に
- 企業 人物像のマッチング
- * 大学 集中投資すべき特色を把握



多様な学生の確保へ

問題点と課題

- ⇒ データ集め・分析・標準化
 - ▶ どの程度の規模?
 - ⇒ コスト?
- センシティブな情報をどこまで扱えるか
- * まとめ

作成:チームだんご8兄弟

2009年7月8日

平成21年度 大学職員情報化研究講習会 ~基礎講習コース~